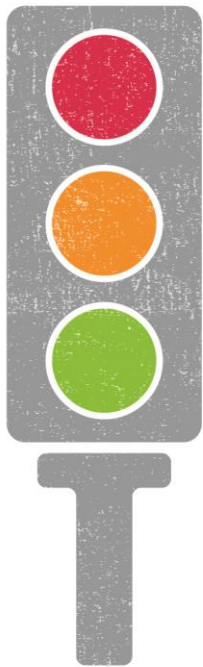


プロラタ費用の損金算入

Tax Division
December 2014, Tax news No. 5

Tax News



去る 10 月 16 日、連邦政府の官報に 2014 年度税務通達¹第 5 修正（以下、第 5 修正という）が公示されました。

内容は多岐に渡りますが、海外で行われたプロラタ費用を損金算入可能にするために納税者が準拠しなければならない要件についての規定が盛り込まれています。

プロラタ費用とは、多国籍企業グループ内において、研究開発費用やシステム統一費用を分担するために各関連企業に割り当てられた費用のことです。メキシコ所得税法 28 条 XVIII では、プロラタ費用

の全額が損金不算入と規定されています。

しかし、今回の第 5 修正では、細則 I .3.3.1.41 所定の要件を満たすことにより、プロラタ費用の損金算入を可能としました。

¹ 日本でいう税法基本通達のような位置付けだが、メキシコではこの通達と税法の内容が異なる場合には通達の規定が優先される。

細則に定められているプロラタ費用の損金算入要件は以下の通りです；

- ① その費用が厳格に必要な不可欠であることの証明ができること
- ② メキシコとその費用を請求する法人所在地国との間に租税条約に関する情報交換規定が存在すること
- ③ その費用に関するサービスを実際に提供されていることの証明ができること
- ④ その費用の額が移転価格スタディに基づく独立企業間価格の範囲内であること
- ⑤ その費用とそれに対応する便益についての合理性を証明できること
- ⑥ その取引に関する契約書及び情報があること
- ⑦ その費用について、企業グループ全体の支出状況の詳細を明らかにする情報・書類を保存していること

以上のように、定められた要件は高レベルかつ複雑であり、多くの納税者にとって、これらの要件を満たしたうえで、プロラタ費用を損金算入することは、実務的に相当の困難を伴うことが予想されます。従って、現実には、前述の損金算入要件を満たすことができる納税者はごくわずかであると考えられています。

このような事態が予測される状況において納税者オンブズマン団体（PRODECON という）や専門家は、過剰に行き過ぎた要件であるというコメントをメキシコ税務当局（SAT という）に寄せており、今後その要件が緩和される可能性があるのではないかと予測するむきもあります。

本件に関しては、今後更なる修正が発表される可能性もありますので、最新情報には注意しておく必要があります。ご相談やご質問などございましたらお気軽にお問い合わせください。

Additional Information

Please let us know if you require any additional information:

Aguascalientes

Georgina Puga
Evaristo.Puga@mx.gt.com
T (52 449) 996 6260

Cd. Juarez

Francisco Solis
Francisco.Solis@mx.gt.com

Guadalajara

Mario Rizo
Mario.Rizo@mx.gt.com
T (52 33) 3817 4480

Daniel Santiago
Daniel.Santiago@mx.gt.com
T (52 33) 3817 4480

Mexico

Santos Briz
Santos.Briz@mx.gt.com
T (52 55) 5424 6500

Pedro Zugarramurdi
Pedro.Zugarramurdi@mx.gt.com
T (52 55) 5424 6500

Ricardo Suarez
Ricardo.Suarez@mx.gt.com
Precios de Transferencia
T (52 55) 5424 6500

日系企業グループ メキシコ支部
(メキシコシティ)

比留川 茜
Akane.Hirukawa@mx.gt.com
T (52 55) 5424 6500

Oficina Monterrey

Santos Briz
Santos.Briz@mx.gt.com
T (52 55) 5424 6500

Ricardo Suarez
Ricardo.Suarez@mx.gt.com
Precios de Transferencia
T (52 55) 5424 6500

Puerto Vallarta

Mario Rizo
Mario.Rizo@mx.gt.com
T (52 322) 224 1297

Queretaro

Pedro Zugarramurdi
Pedro.Zugarramurdi@mx.gt.com
T (52 55) 5424 6500

Tijuana

Luis Fernando Acosta
Luis.F.Acosta@mx.gt.com
T (664)207-0050

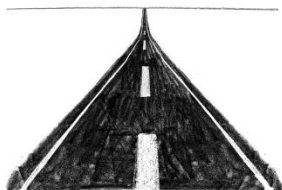
Representative Offices:

Hermosillo

Humberto Garcia
Humberto.Garcia@mx.gt.com
T (52 662) 260 2176

Mazatlan

Alfredo Valdez
Alfredo.Valdez@mx.gt.com
T (52 669) 982 2017



To comply with the stated by the Federal Law on Protection of Personal Data in Possession of Individuals and its Regulation, you are notified that all Personal Data provided to Salles, Sainz Grant Thornton, S.C., will be treated strictly in terms of the corresponding privacy notice and according with the legislation related.

In the following link you will find the privacy notice in matters of Personal Data Protection: <http://www.ssgt.com.mx/avisodeprivacidad.html>. Salles, Sainz Grant Thornton, S.C., is a member firm of Grant Thornton International Ltd (GTIL). GTIL and the member firms are not a worldwide partnership. Services are delivered by the member firms. GTIL and its member firms are not agents of, and do not obligate, one another and are not liable for one another's acts or omissions. Please see www.ssgt.com.mx for further details.